

あ と が き

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
菊地臣一
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
竹光義治
富田勝郎
戸山芳昭
内藤正俊
守屋秀繁
矢部裕
山室隆夫

編集主幹

土屋弘行
編集委員
金谷文則
黒田良祐
仁木久照
松本守雄
松山幸弘
山本卓明
吉川秀樹

オンライン投稿

ID: rinseige

パスワード: rinseige

今回の誌上シンポジウムではサルコペニアを取り上げている。サルコペニアはRosenbergによって提唱された概念で「加齢に伴う筋量の減少」を意味しているようである。筋量の問題だけでなく、筋力と身体機能、特に歩行速度が関与している。サルコペニアの定義では歩行速度が0.8 m/sで、握力が男性26 kg、女性18 kg以下で、さらに筋量が男性7 kg/m²、女性5.7 kg/m²未満であるとサルコペニアと診断される。客観的なデータで示され、また診断しやすい。われわれ整形外科医は骨量、骨密度の評価、そしてその治療を行ってきたが、筋力の評価、筋量の評価、そして身体機能の総合評価をしっかりと行ってきたのだろうか？

また筋量の増加や筋力増強、そして身体機能を増加させる治療を科学的に評価し、治療介入を行ってきたのか、いささか不安だ。

加齢に伴って運動器機能不全、ロコモは生じてくる。骨、筋肉、神経、すべて身体機能、運動器機能に関与してくるのは当然であろう。もちろん骨粗鬆症の治療は骨折予防に繋がり、筋量をつけ、筋力をつけることは身体機能を改善させる。特に筋力や筋量については、いかに加齢に伴って落とさないようにするか、また予防にはどのような食材がよいのか、ビタミンなどの栄養素はどうか、さらに大切なのは、どのような運動がどの筋量を、また筋力を増加させるのかを、運動器を扱うわれわれ整形外科医は知っていなければならないと痛感する。

今さらではあるが、骨だけ、筋肉だけ、神経だけ注目していても運動器機能不全は防げないであろうし、また当然、身体機能は低下しロコモティブシンドロームへ一直線であろう。

サルコペニアの改善がロコモ改善につながる。今回の誌上のシンポジウムは、整形外科医にサルコペニアの概念から、ロコモの予防を、そして今後のわれわれが進むべき方向性をも示しているような気がする。

(松山幸弘)

臨床整形外科 (第54巻第3号)

2019年3月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円＋税

2019年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 28,080円＋税

冊子＋電子版/(個人) 33,080円＋税

電子版/(個人) 28,080円＋税

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

住所 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 株式会社アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込 株式会社医薬広告社 電話 (03)3814-1971

表紙デザイン ミスター・ユニバース株式会社

レイアウトデザイン 有限会社ベシック

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2019. Printed in Japan.

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。

・本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。